

作物の種類		ばれいしょ		432		1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	塊茎の形	20個	観察		球形	短卵形	卵形	長卵形	長形	極長形					L=長さ/幅、T=厚さ、球形：L=1.0、T>0.8、短卵形：L=1.3、卵形：L=1.4、長卵形：L=1.7、長形：L=1.9、極長形：L=2.1
2	塊茎の皮色	区	観察		淡ベージュ	黄	赤	赤斑	紫	紫斑	赤褐			表皮の基調となる色	
3	植物体：草性	区	観察		直立	やや直立	開張								
4	幼芽：形	6塊茎	観察		球形	卵形	円錐形	広円筒形	狭円筒形					25℃、2000～3000ルクスの条件下で新聞紙1枚で被覆した塊茎の幼芽を調査	
5	幼芽：基部のアントシアニン着色の程度	6塊茎	観察		無又は極弱		弱		中		強		極強		
6	幼芽基部のアントシアニン着色における青色の発色割合	6塊茎	観察		無又は低	中	高								
7	幼芽：基部の毛茸	6塊茎	観察		無又は極弱		弱		中		強		極強		
8	幼芽：根端の数	6塊茎	観察				少		中		多				
9	茎：アントシアニン着色の程度	区	観察		無又は極弱		弱		中		強		極強		
10	花冠：内面のアントシアニン着色の程度	区	観察		無又は極弱		弱		中		強		極強		
11	花冠内面のアントシアニン着色における青色の発色割合	区	観察		無又は低	中	高								
12	花冠：内面のアントシアニン着色の広がり	区	観察		無又は極小		小		中		大		極大		

作物の種類		ばれいしょ		432	1次必須項目									
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
13	塊茎：目の基部の色	区	観察		白	黄	赤	紫						
14	枯凋期	区	観察		極早		早		中		晩		極晩	

作物の種類		ばれいしょ		432		1次選択項目								
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	植物体：草高	5株	測定		極短		短		中		高		極高	最大伸長期以降の地際から先端までの長さ
2	ふく枝の長さ	区	観察		極短		短		中		長		極長	収穫時におけるふく枝の長さ
3	表皮のネット	区	観察		無		少		中		多		極多	滑らかさの程度
4	植物体：草型	区	観察		茎型	中間 型	葉型							
5	塊茎：目の深さ	10個	観察		極浅		浅		中		深		極深	
6	塊茎：肉色	10個	観察		白	クリ ーム	淡黄	黄	濃黄	赤	赤斑	紫	紫斑	
7	第2側生小葉対：大きさ	区	観察		極小		小		中		大		極大	
8	花：花の数	区	観察		無又は 極少		少		中		多		極多	
9	葉：小葉の重なり	区	観察		重なる		中間		開く					
10	幼芽：頂部のアントシアニン 着色	区	観察		無又は 極弱		弱		中		強		極強	
11	花冠の形	5株	観察		鋭角		やや 鋭角		中間		やや 鈍角		鈍角	種苗特性分類基準記載の方法に準じる

作物の種類		ばれいしょ		432		2次必須項目									
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	青枯病抵抗性	10株2反復	観察・測定		極弱		弱		中		強			種苗特性分類基準記載の方法に準じる	
2	塊茎腐敗抵抗性	10株2反復	観察・測定		極弱		弱		中		強			種苗特性分類基準記載の方法に準じる	
3	ジャガイモシストセンチュウ (Ro1)抵抗性	2反復	測定		無	有 (H 1)	有 (そ の他 )							種苗特性分類基準記載の方法に準じ、マーカー検定を併用する	
4	花粉の多少	区	観察		無	微	少		中		多		極多		
5	結果数	区	観察		無		少		中		多				
6	Yモザイク病抵抗性	10株2反復	観察・測定				弱		中		強		免疫	種苗特性分類基準記載の方法に準じる	
7	疫病圃場抵抗性	区	観察・測定		極弱		弱		中		強			種苗特性分類基準記載の方法に準じる	
8	休眠期間	区	観察・測定		極短		短	やや 短	中	やや 長	長		極長		

作物の種類		ばれいしょ		432		2次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	葉巻病抵抗性	10株2反復	観察・測定				弱		中		強		免疫	種苗特性分類基準記載の方法に準じる
2	そうか病抵抗性	10株2反復	観察・測定		極弱		弱		中		強			種苗特性分類基準記載の方法に準じる
3	粉状そうか病抵抗性	10株2反復	観察・測定		極弱		弱		中		強			種苗特性分類基準記載の方法に準じる
4	Xモザイク病抵抗性	10株2反復	観察・測定				弱		中		強		免疫	
5	Aモザイク病抵抗性	10株2反復	観察・測定				弱		中		強		免疫	
6	Sモザイク病抵抗性	10株2反復	観察・測定				弱		中		強		免疫	
7	疫病遺伝子型		測定										切離葉に $5.0 \times 10^4$ /mlに調整した遊走子懸濁培養液を1mlに50ml噴霧し接種。18℃程度で湿度を保ち、照明を照射した状態で管理。接種後3日後から病斑を観察し、病斑と気中菌糸の形成により判定	

作物の種類		ばれいしょ		432		3次必須項目								
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	上いも重	区	測定		極軽		軽		中		重		極重	調査区当たりの上いも（1個20g以上のいも）重を測定（単位0.1kg）し、a 当たりに換算する（kg）
2	上いも数	区	測定		極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	同上株の上いも数からa 当たり個数を算出する
3	肉質	4片	観察		粘	やや粘	中	やや粉	粉					
4	黒変の程度	4片	観察		無	微	少	やや少	中	やや多	多			水煮後1時間以上経過してから判定
5	煮くずれの程度	4片	観察		無	微	少	やや少	中	やや多	多			剥皮塊茎を縦半切りし、20分間水煮した試料について判定
6	でん粉価	2kg	測定		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高	ライマン価による。低：12%，中：16%，高：20%を基準
7	上いもの平均重	区	測定		極軽		軽		中		重		極重	

作物の種類		ばれいしょ		432		3次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	貯蔵前のチップの褐変程度	10片	測定		無	微	少	やや少	中	やや多	多			6-9℃貯蔵する前の塊茎をスライスした後、一定条件で揚げる。チップカラーを比色計で測定	
2	フライの褐変程度	10片	測定		無	微	少	やや少	中	やや多	多			6-9℃貯蔵する前の塊茎を、1cm角の棒状にカットし、低温と高温で2回揚げたのち、色調を評価	
3	貯蔵後のチップの褐変程度	10片	測定		無	微	少	やや少	中	やや多	多			6-9℃で3ヶ月以上貯蔵した塊茎をスライスした後、一定条件で揚げる。チップカラーを比色計で測定	
4	でん粉の白度	2点	測定				低	やや低	中	やや高	高			白度計による。低:<90, 高:>95を基準	
5	でん粉の粒度	2点	測定		極小		小		中		大			極大	
6	でん粉の最高粘度	2点	測定				低	やや低	中	やや高	高			ブラバンダー社ビスコグラフィーにより、糊化開始温度、最高粘度、同粘度時の温度を測定	